

基本操作の概要

ポスター作例

選択 移動 取消 やり直し カット コピー&ペースト ロック・解除
グループ化 拡大・縮小 シアー（ゆがみ） 回転 リフレクト（反転）
パスの色とカラー設定のパレット パスの塗り スワッチとカラーパレット
グラデーションの種類 線の色と太さ

■りんごのイラストを描く ■点線を生かす

■シンメトリック図形 ■スタイル適用

パスの操作 ペンツールでのパスの操作

アンカーPの追加・削除 はさみツール ナイフツール スムーズツール
レイヤーパレット

イラストレータの文字入力 文字の向き タイプフェイスの分類

文字サイズ 行間 パス上文字ツール

文字のアウトライン エリア内文字ツール

テキストエリアでの文字揃え マスク 複合パス

■文字の装飾 ドロップシャドウ アピランスを使う

主な保存形式

■名刺作成

■ウイスキー広告

■ガレージセール

■展覧会チラシ

Illustrator 演習

基本操作の概要



選択 = 黒矢印でクリック
選択解除 図形以外をクリック

移動 プレス→ドラッグ

複数の図形を同時に移動する 複数図形の選択
ドラッグして囲む



前の操作を取り消す Ctrl + Z

削除 図形を選択し→Delete

コピー Ctrl + C
ペースト Ctrl + V 複写=(Alt)押しながら

前の操作を繰り返す Ctrl + D

画面の拡大縮小

画面を**拡大**する ツール でクリックする

画面を**縮小**する (= + OPTIONキー) でクリックする
(クリックする位置はどこでも良い)

基本図形を描く

長方形 ツールでドラッグ **正方形** SHIFT押しながらドラッグ

楕円形 ツールでドラッグ **正円** SHIFT押しながらドラッグ

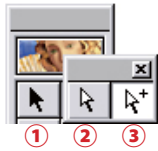
三角形 多角形ツールで辺の数を3に設定する

多角形ツール は、楕円形ツールを少しプレスすると表示される)

ポスター作例



選択



3つの矢印ツールは**選択ツール**と総称して呼ばれ、オブジェクトを選択する為に使います。

選択の**解除**を行う場合アートワーク上の**何もないポイントをクリック**します。

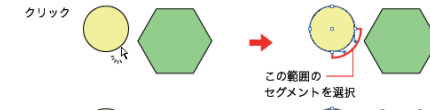
[shift] キー併用すると、選択を追加できます

①**選択ツール (黒い矢印)** オブジェクトのパスすべてを選びます。

②**ダイレクト選択ツール (白い矢印)** パスの一部分を選択するとき

*アンカーポイントやセグメントを個別に選択できるためパスの編集で主に使用される

ダイレクト選択ツール
アンカーポイントやセグメントなど、パスの一部を選択します。



③**グループ選択ツール (+ マーク)**

グループ化されたオブジェクトの中から選びたいオブジェクトだけを選択することが出来ます。

*ダイレクトツール選択中に **Alt** キーを押している間だけ一時的にグループ選択ツールに切り替わります。

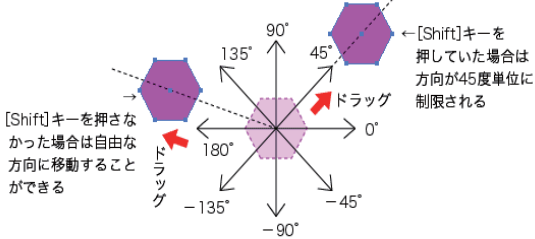
移動

●ドラッグによる移動

選択ツールでドラッグして移動できます。この時、[shift] キーを押していると45度単位で制限できます。

オブジェクトの移動

選択しているオブジェクトはドラッグで移動します。[Shift]キーを押していると移動する方向が45度単位に制限されます。



●矢印キーでの移動

選択し、キーボードの**矢印キー**を、移動する方法に押すと移動できる。

「一般」でキー入力のボックスに入れた数値と同じ距離だけ、矢印キーの方向に動く。[shift] キーを押しながら矢印キーを押すと移動する距離が10倍になります。

取り消し・やり直し

作業を取り消すことができます。「単位・取り消し」で指定した回数だけ取り消しができます。

イラストレーターのようなドローソフトは扱うデータが軽いので、取り消し回数を多くしてもストレスなく作業できます。

[command] [Z] (Mac) / [Ctrl] [Z] (Win)

取り消した回数分、作業をやり直すこともできます。[command] [shift] [Z] キー (Mac) / [Ctrl] [Shift] [Z] (Win) です。

カット、コピー、ペースト

カットは、コピーした元を削除してしまいます。

コピーの場合は元を削除しません。選択したパス・文字などをクリップボードにコピーします。テキストエディタからテキストやPhotoshopの画像を**コピー&ペースト**することも可能です。

●前面へペースト、背面へペースト

イラストレーター独自のメニューが**前面へペースト**と**背面へペースト**です。

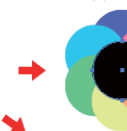
前面(背面)へペースト

パスを選択して前面(背面)へペーストすると、パスの順番を調節できます。

1 元の形

2 黒をカット

3-A.前面へペースト



ロック・解除

[ロック] =作業中に選択したくないパスを選択できなくなります。

[command] [2] (Mac) / [Ctrl] [2] (Win)

[すべてをロック解除]

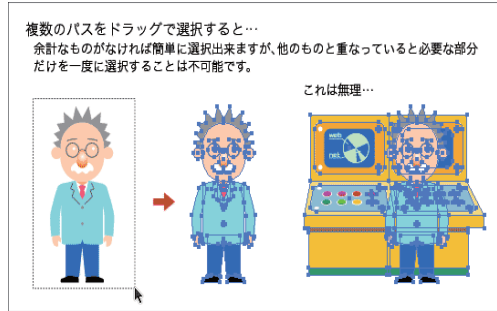
それまでにロックしていたすべてのパスのロックを解除します。

[command] [option] [2] (Mac) / [Ctrl] [Alt] [2] (Win)

グループ化

グループ化すると選択が便利になる代わりに、複数のレイヤーに振り分けていたパスが一つのレイヤーの中にまとめられてしまうので注意が必要です。

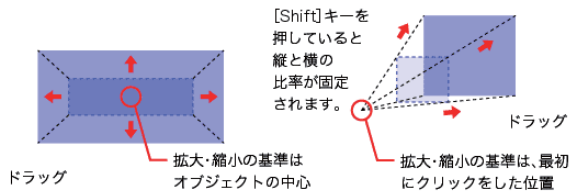
グループ化と複数のレイヤーを両立させたい場合は、それぞれのレイヤー内でグループ化して、選択ツールで同時に選んでください。



拡大・縮小

オブジェクトの拡大・縮小

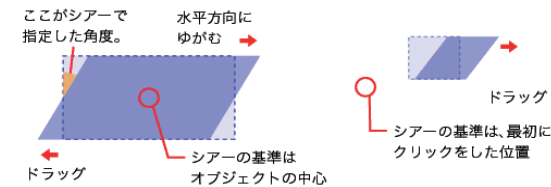
選択しているオブジェクトはドラッグで拡大・縮小します。ドラッグの前にクリックをすると、その位置が拡大・縮小の基準となります。[Shift]キーを押しているとき縦と横を固定したまま拡大・縮小します。



シアー (ゆがみ)

オブジェクトのシアー(ゆがみ)

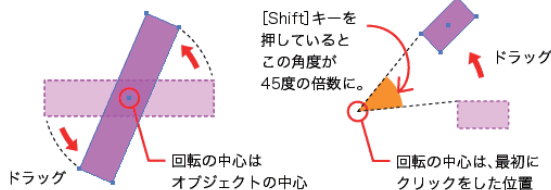
選択しているオブジェクトはドラッグでゆがみます。ドラッグの前にクリックをすると、その位置がシアーの基準となります。[Shift]キーを押しているときシアーの方向が45度単位に制限されます。



回転

オブジェクトの回転

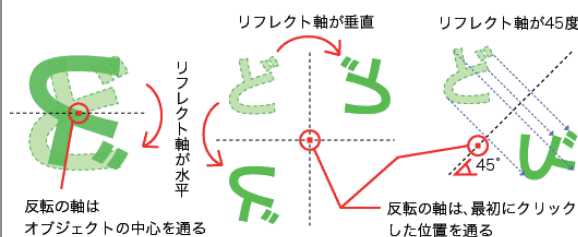
選択しているオブジェクトはドラッグで回転します。ドラッグの前にクリックをすると、その位置が回転の中心となります。[Shift]キーを押しているとき45度ずつの単位で回転します。



リフレクト (反転)

オブジェクトのリフレクト(反転)

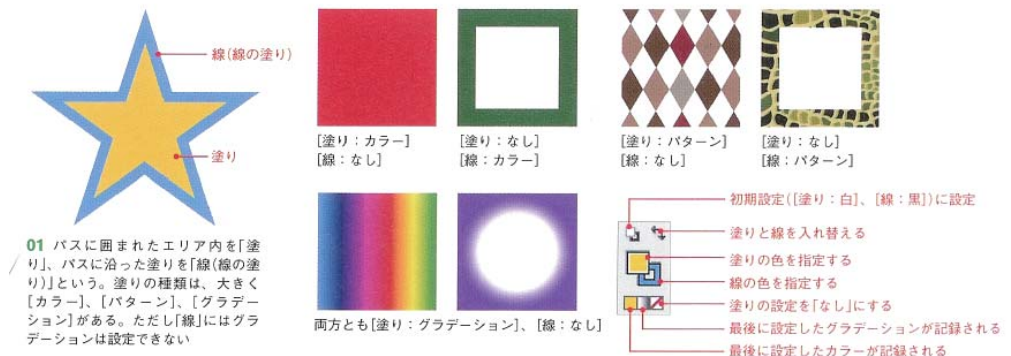
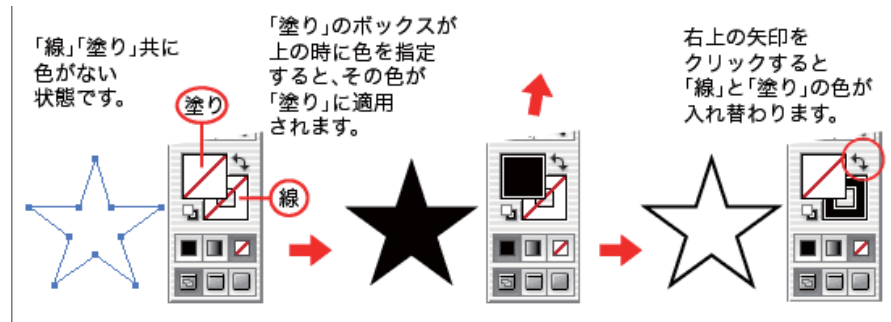
選択しているオブジェクトはドラッグでリフレクト(反転)します。ドラッグの前にクリックをすると、その位置を通るようにリフレクトの軸が決まります。



パスの色とカラー設定のパレット

イラストレーターのツールボックスの下側に色を設定するための四角（ボックス）があります。「塗り」と「線」（中央に穴がある方）が重なっていて、クリックしたボックスが上になります。上になったほうのボックスに選んだ色が入ります。右上の矢印をクリック→「線」「塗り」入れ替わり

実際に色を選ぶのはスウォッチパレットやカラーパレットで行います。色なし（斜めに赤いラインが入っているマス）や白、黒も選べます。ちなみにスウォッチパレットの色なしの横にある二重丸のマークは「レジストレーション」という色で、4色印刷用のデータを作るときに使います。

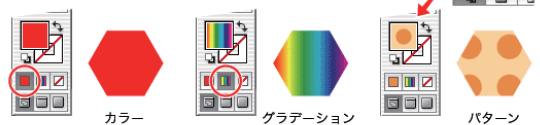


●パスの塗り

パスで囲まれた範囲を塗りつぶすことができます。中を塗る場合は、単色の他に、グラデーションやパターンを使うことができます

パスの塗り

ツールパレットの下側のボックスをクリックして色を指定すると、パスの中を塗ることができます。カラーパレットから選んだ色以外にも、「グラデーション」や「パターン」で塗ることも可能です。

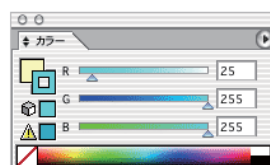


スウォッチとカラーパレット

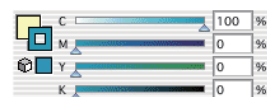
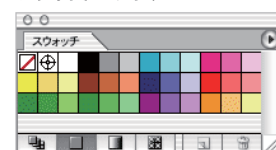
スライダーの▲を移動させると数値が変化して色を調整できます。直接数値を入力しても構いません。下の七色の部分をクリックすると大まかな色が指定できます。スライダーや数値入力で決めた色は、その色が入ったボックスをスウォッチパレットまでドラッグ

スウォッチパレットとカラーパレット
スウォッチパレットの色はクリックするだけで使う色を指定できます。カラーパレットにはツールボックスと同様のボックスがあります。横のスライダーや数値入力で色を指定できます。

カラーパレット



スウォッチパレット



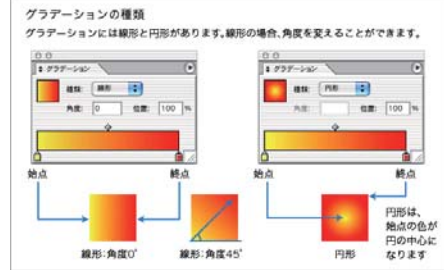
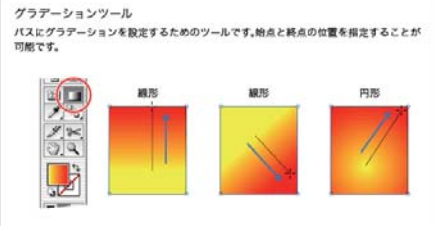
CMYKカラーだと4色なのでスライダーも4列になります。

グラデーションの種類

イラストレーターツールボックス下部のグラデーションボタンをクリックすると、グラデーションパレットが有効になります。ここで、グラデーションに使う色や種類を決めることができます。

イラストレーターのグラデーションには線形と円形の2種類があります。

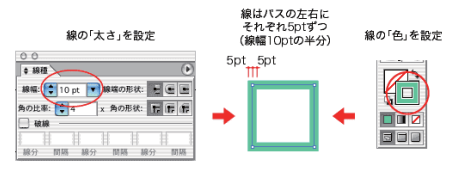
左から右に色が変化していくのが基本で、このときの角度が0度になります。左下から右上に変化していくと角度は45度、下から真上で90度になります。-90度などのようにマイナスをつけると時計回りになります。



線の「色」と「太さ」

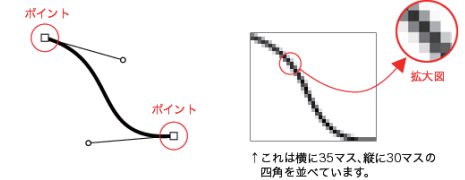
パスを線として使う

線の「太さ」と「色」を決めてからパスを描きます。もちろん、既存のパスを選択した状態で設定を変更すれば、後からでも線の太さや色を変えることができます。

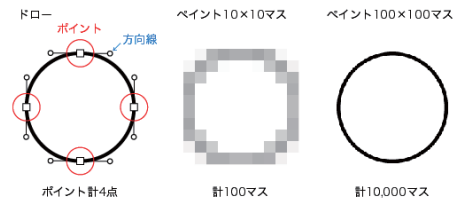


ドローソフトとベイントソフト

2点以上のポイントを定めるだけで、自動的に間の線を計算して表示するのがドローソフト(左)で、四角を並べてその色味や濃淡で表現するのがベイントソフト(右)です。

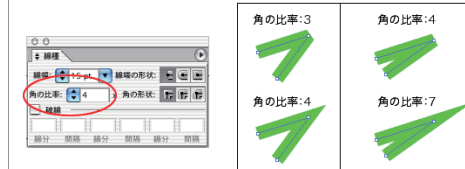


円をドローソフトとベイントソフトで表現



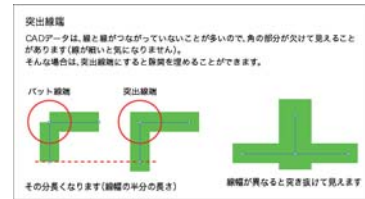
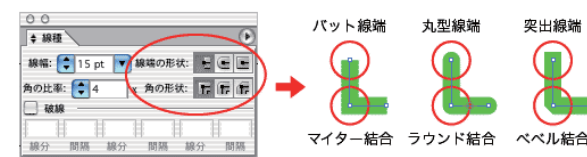
角の比率

2本の線の角度により、角の先が飛び出たり、飛び出なかったり（ベベル結合）します。マイター結合の場合だけ、角の比率に数値を入れることができます（デフォルトは4）。



線の端や角の設定

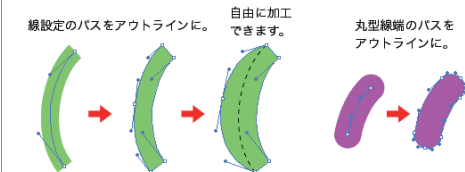
線端の形状は、パレットの左から順に「バット線端」「丸型線端」「突出線端」となります。角の形状は、同じく左から順に「マイター結合」「ラウンド結合」「ベベル結合」となります。見本の線がありますが、これ以外にも線端と角の組み合わせは自由に変更できます。



パスをアウトラインに

アウトラインに変換すると、線幅と同じ太さの「塗りだけのオブジェクト」になります。

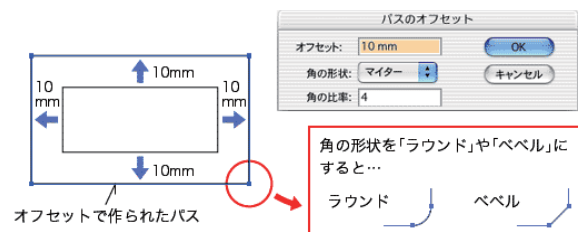
パスをアウトラインに
オブジェクトメニューの[パス/パスのアウトライン]は、線設定のあるパスをアウトライン化します。



パスのオフセット

選択しているパスから指定した長さだけ離れたところにパスを作成するものです。

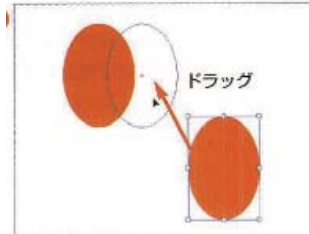
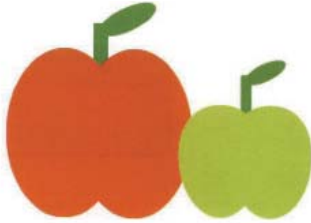
同じパスを大きくするのも、拡大とオフセットとは結果が異なります。



リンゴのイラストを描く

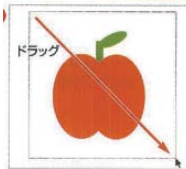
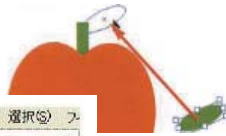
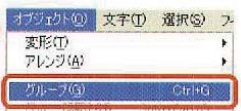
TOOLS : この作例で使う主な機能

- 楕円形ツール
- 長方形ツール
- 選択ツール
- ダイレクト選択ツール
- 回転ツール
- 拡大・縮小ツール



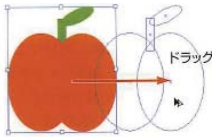
小さなリンゴを作る

リンゴ全体を
グループにする



[オブジェクト]メニュー→[グループ]
を選択してグループ化します (Ctrl) +
Gキー)。

移動しながらコピーする



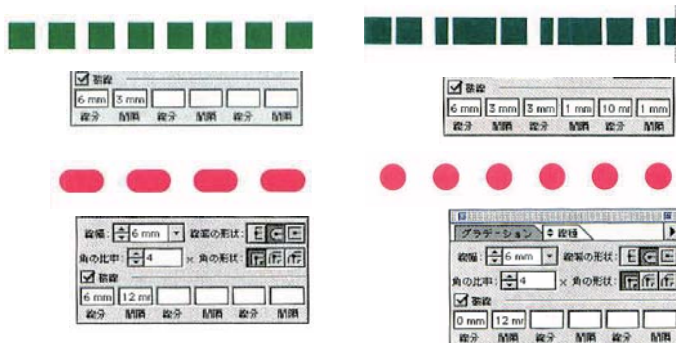
選択ツールでリンゴを選択し、Shift
+ Altキーを押しながら右にドラッグし
てマウスを離します。

■練習：うさぎ



縮小する

■点線を生かす

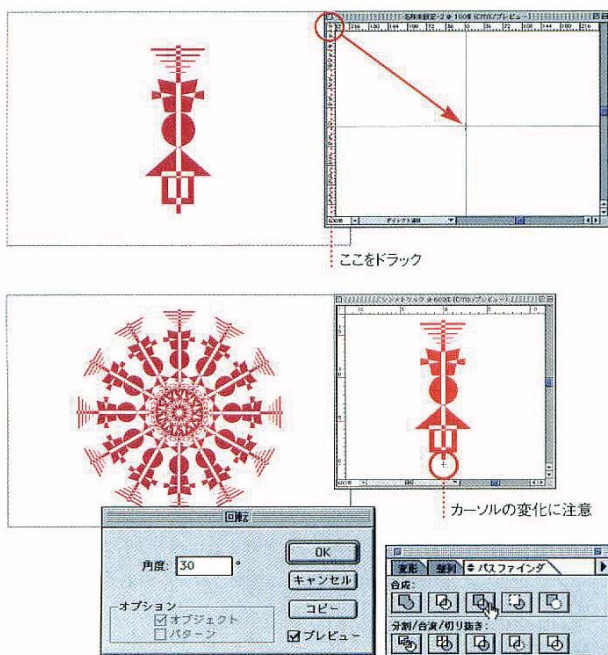


⑤ [間隔] に数値を入力して、すき間を作ろうと思うと、ちょっと戸惑う。丸く出っ張った分、6mmすき間をあげようと思って [間隔] に入力しても、思っているすき間にならない。

基本的に出っ張る分は [線幅] 数値と同じになる。つまり6mmすき間をあげたい時は、線幅プラス6mmで12mmと入力する。

左ページ右上の作例のように丸い円の点線にしたい時は、[線分] に0mmと入力する。線がなくても出っ張りだけ残るので、まーいドットになるのだ。

■シンメトリック図形

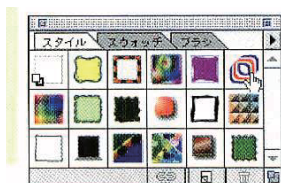


① 定規を表示し画面中央部を目盛が0.0になるように設定した後、横軸0が中心になるようにオブジェクトを作成した。適当にオブジェクトを作成した後、整理パレットを利用してよい。

② すべてを選択したら、回転ツールを選択。目盛の0.0を [option] 十クリックして基準点設定。オブジェクトを、回転コピーを繰り返してシンメトリックな図形を作成した。重なった部分は [パスファインダ] パレットの [合成] の「中マド」でスッキリ見せている。

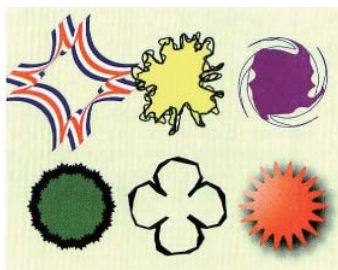
上の作例はシンメトリックオブジェクトを中心からずらしてさらに回転コピーさせ、「中マド」でくり抜いた。グラデーションで氷のような透明感を出している。

■スタイル適用

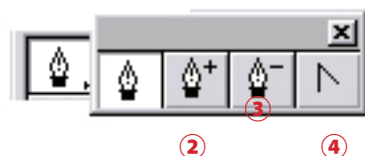


① [スタイル] パレット。普通の正円に適用するだけでこんな形になっちゃうお手軽機能だ。

② これに [効果→パスの変形→バンク・膨張] を適用するとこのように変化。円や四角の単純図形にいろいろなスタイルを適用し、[パスの変形] を利用して面白いイメージを作ってみよう。



●パスの操作



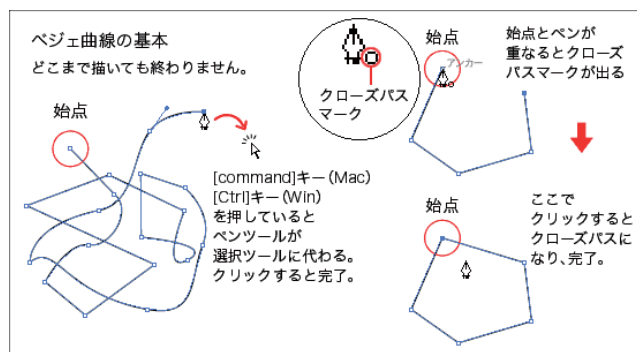
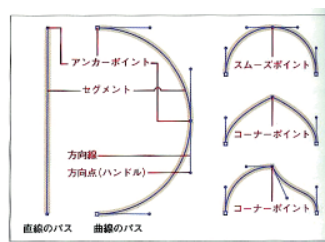
イラストレーターで描く線や図形のオブジェクトは「パス」でできている。

- ・直線のパスは「アンカーP」と「セグメント」
- ・曲線のパスは「アンカーP」と「方向線」

で構成される。

また、セグメントをつなぐアンカーPから延びる2つの方向線が直線になっているものを「スムーズP」、方向線が無いもの、または2つの方向線が独立した角度をもつものは「コーナーP」とよばれる。

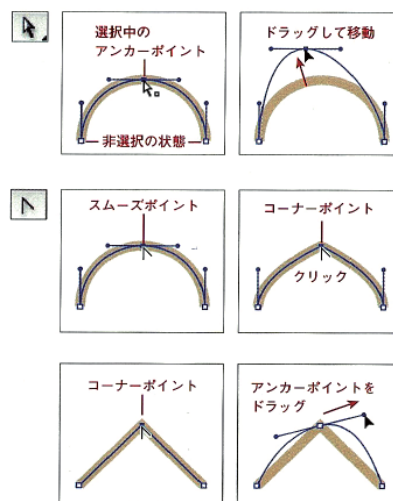
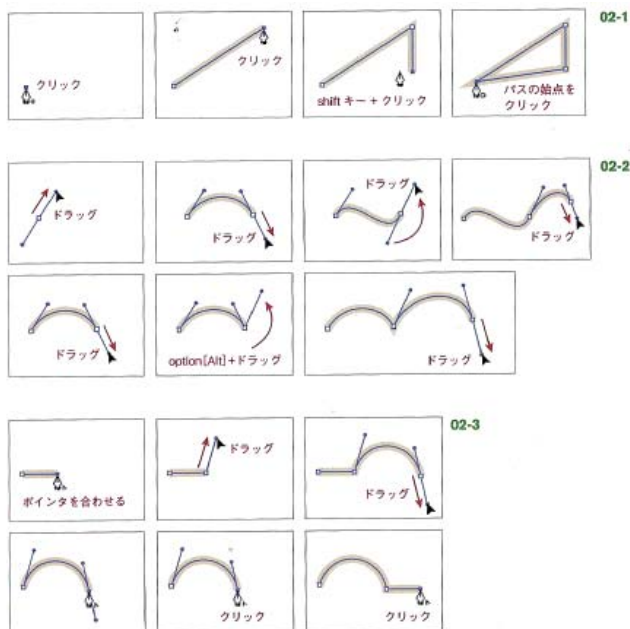
- ① 「ペンツール」
ベジェ曲線を描く
- ② 「ポイント追加ツール」
ベジェ曲線にアンカーポイントを追加
- ③ 「ポイント削除ツール」
アンカーポイントを削除
- ④ 「切り替えツール」
アンカーポイントの方向線を修正する



ペンツールで描き始めると「完了の合図があるか、パスが閉じる」までパスは伸び続けます。「完了の合図」とはパスを描くことが終わったとパソコンに伝えることで、選択ツールなどで画面上をクリックするだけです。

ペンツールを使っている状態で [command] キー (Mac) / [Ctrl] キー (Win) を押していると一時的に選択ツールに切り替わるので、そのまま作業エリア内をクリックするとパスが完了します。他のツールを使用してもパスが完了します。

●ペンツールでのパスの描画



●ダイレクト選択ツール (白い矢印)

パスの一部を選択するとき

●切り替えツール

「スムーズP」、をこのツールでクリックすることで方向線の無いコーナーPに変更できる (またはその逆も)

ペンツールを使用時に [option] [Alt] キーを押して切り替えられる。

●アンカー P の追加ツール

●アンカー P の削除ツール

- はさみツール
- ナイフツール
- スムーズツール

セグメント上にカーソルをあわせる

クリックでアンカーポイント追加

アンカーポイントにカーソルをあわせる

クリックでアンカーポイント削除

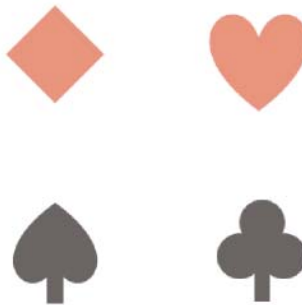
カーソルを合わせる

クリックしてパスを分割

06

タ選

トランプをパスで描く (練習)



レイヤーパレット

レイヤーパレットの説明

- 1.レイヤーのロックの切り替え
- 2.レイヤーの表示の切り替え
- 3.選択しているオブジェクトの有無を表示

- 1.で関係ないレイヤーをロックしておく、間違っでパスを選択することもなくなるので、能率が上がります。
- 2.で関係ないレイヤーの表示を切っておくと、レイヤー単位でパスを隠せるので画面が見やすくなります。
パスを選択すると 3.の部分に四角いマークが現れます。これは選択したパスがどのレイヤーに含まれているかを示すものです。この四角を他のレイヤーにドラッグすると、選択していたパスがそのレイヤーに移動します。レイヤーが変わるだけでパスの位置はそのままです。

●レイヤーオプション

レイヤーオプションウィンドウ

名前: レイヤー-2

カラー: レッド

テンプレート ロック

表示 プリント

プレビュー 配置画像の表示速度: 50 %

「プリント」のチェックを外すと、そのレイヤーに含まれるパスは全てプリント時に無視されるので、下絵や注意事項、ガイドなどを書類に残しておいても大丈夫です。

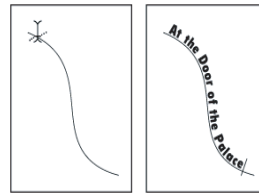
イラストレーターの文字入力



Illustrator の文字の効果

- A. グラフィックオブジェクトとしての文字
文字をオブジェクトに変換すると、Illustrator で作成する通常のオブジェクトと同様に編集することができます。
- B. パス上の文字
パスに沿って文字を入力できます。
- C. エリア内文字
たとえば、長方形にテキストを流し込んでコラムを作成することができます。
- D. 回り込み文字
- E. 縦組み文字

パスに沿った横組みまたは縦組み文字の入力

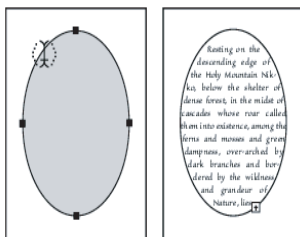


特定の位置に横組みまたは縦組みの文字を入力するには：

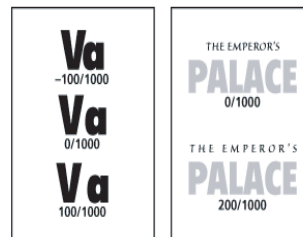
- 1 文字ツール () または文字 (縦) ツール () を選択します。
- 2 文字を入力する位置でクリックします。
：文字ツールでオブジェクトをクリックしないように注意
改行する場合は、Enter キー (Windows)

文字ツールを使ってテキストボックスを作成
斜めにドラッグしてテキストボックスを定義

オブジェクト内への横組みまたは縦組み文字の入力
エリア内文字ツール () を選択



カーニングとトラッキングの指定



カーニング、トラッキング(The Emperor's)

カーニングは、2 つの文字間のスペースを決定
トラッキングは、複数の文字間に均一なスペースを挿入

文字のペイント 文字に塗りや線を適用することができます

スポイトツールを使うと、文字の属性をコピー (サンプル) することができます

▼短い文字の入力

- ① ツールボックスの「文字ツール」で画面をクリックするとカーソルが点滅します。
- ② 続いてキーボードから文字を入力していきます。ワープロソフトのように [Enter (return)] キーで改行も可能です。

▼長い文字 (文章) の場合

文字はキーボードから入力する以外に、文章をワープロソフトなどからコピー&ペーストできます。そういう長い文字の場合には、文字ツールをドラッグし、**テキストエリア**を作ってから

●文字の選択

選択ツールで文字のベースを選択すると、文字列**全体**を選択します。
文字ツールでドラッグして選択すると、文字列の**一部分**だけの変更ができます。

●文字パレットとフォント

まずは文字の書体 (フォント) を決めます。使用したいフォントをポップアップメニューで、パソコンに最初から入っているフォントの中から選び

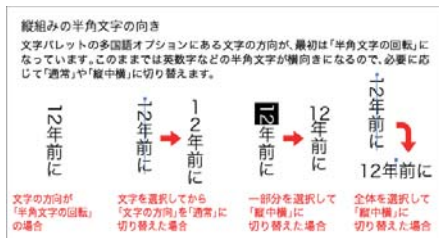
文字の向き

入力・コピーします。

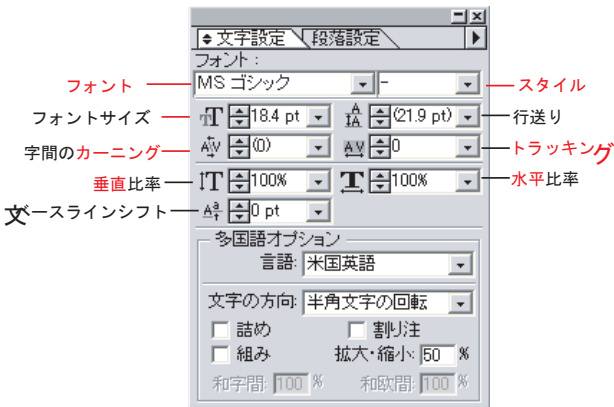
ツールボックスの「文字ツール」を使うと横書き、「文字（縦）ツール」を使うと縦書きになります。

なお、文字ツールを使用している時に [SHIFT] キーを押すと、押している間だけ横書きと縦書きとが切り替わります。そのため「文字（縦）ツール」をツールパレットから選ぶことは、ほとんどないと思います。既に入力した文字も、書式 (Illustrator 10 以前は文字) メニューの [文字組み方向] で、選択している文字の向きを縦⇄横と切り替えることもできます。

縦書きのとき、英数字などの半角文字が -90 度回転します。これは文字設定パレットにある文字の方向のデフォルトが「半角文字の回転」になっているからです。テキストを選んだ状態で文字の方向を「通常」にすると半角文字も縦に並びます。半角文字を横に並べたいときは、その部分を文字ツールで選択したまま、文字の方向を「縦中横」にしてください。

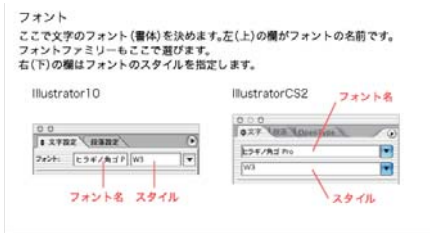
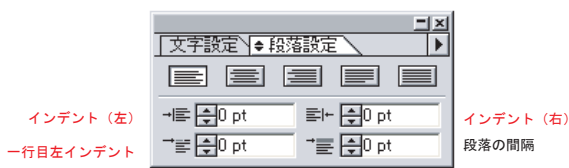


フォント形式には大きく言って3つの形式があります。大ざっぱに言うと Windows ユーザーを中心にオフィスや家庭で使っているのが **TrueType**、Macintosh ユーザーを中心にデザイナー、印刷屋、商業制作物などに使われているのが **Postscript**、今後普及する次世代の便利なフォントが **OpenType** です。



カーニングは、文字と文字との間を、個別に調整
カーニング設定する文字間にカーソルを挿入
「カーニングボックス」で、カーニングの値を指定

トラッキングとは、テキストブロック全体の文字間隔を調整
調整する文字範囲またはテキストオブジェクトを選択。
文字パネルで、トラッキングオプションを設定。



タイプフェイスの分類



「セリフ」とは文字の端についている「ひげ」のような部分のことです。「セリフ」は書体のデザインのバリエーションではなく紀元前からデザインされていた書体のひとつです。石版に刻むときに出来る亀裂がそもその原点という説もあります。

■サンセリフ
逆に「セリフ」のないものを「サンセリフ」といい18世紀のイギリスで作られました。商業印刷技術の普及と共に広がっていきました。現在では欧文の本文はサンセリフで組まれています。

■スクリプト
筆記体のごとく、ペンや筆で書いたような文字がこれにあたります。文字同士の結合部分がうまくつながるように気をつけて使った方が良いでしょう。

■ディスプレイ
見出し・タイトルのためにつくられたインパクト・ユニークなどに富んだ書体のことです。本文等で組むと読みづらいので注意しましょう。



毛書体の要素を残しつつ直線的にすっきりとデザイン化されたもので、横線よりも縦線の方が太いのが特徴です。欧文の「セリフ体」にあたります。

■ゴシック体
均一なラインが特徴で「丸ゴシック」「角ゴシック」などの区別もあります。欧文のサンセリフにあたります。

■筆記体 (楷書体、行書体等)
楷書、行書等の書き文字を元につくられたもの。勘亭流などもこの仲間です。

フォントのファミリー

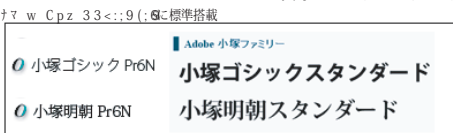
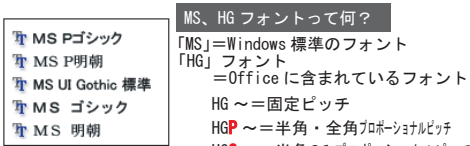
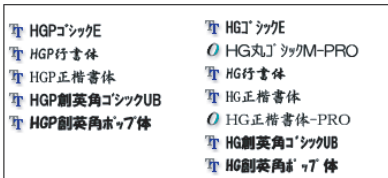
フォントには様々なバリエーション (ウェイト) をもつ「ファミリー」となっているものがあります。1つのデザイン上でファミリーに統一しておけば、統一感のあるデザインが行えます。

欧文では、細い順より **Thin/Light/Book** となり標準が **Regular**、それ以後は **Medium/Demi/Bold/Heavy/Black/Nord/Super/Poster** などとなっていきます。また、Regularがない場合は **Book** もしくは **Medium** が標準となります。

和文の場合は、大きく分けて **L/R/M/B/U** など欧文の表記の略を使う物と、**W3/W5/W7/W9** などウェイトの頭文字の **W** と数字で表すところが多い。

また、フォントには上記以外にも **Condensed** (横幅の狭い)、**Extended** (横幅の広い) や **italic** (斜体) などがあります。

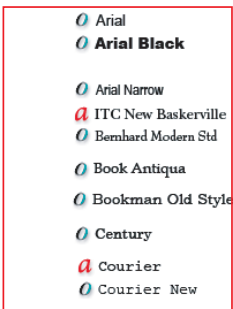
フォント



スタイル

EL 日本国民は、
L 日本国民は、
R 日本国民は、
M 日本国民は、
B 日本国民は、
H 日本国民は、

R governm
I governme
B governm
BI governm



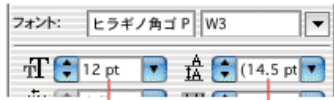
Postscript
OpenType

●文字サイズ・行間

文字サイズと行間

ここで文字のサイズや行間を決めます。他のパレットと同様に、直接数値を入力する以外にも、左側の「上下の三角」をクリックしての数値の増減や、右側の下向き三角でポップアップメニューを出して数値を決めることができます。

Illustrator10



文字サイズ

行間サイズ

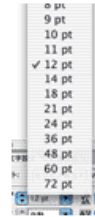
IllustratorCS2



文字サイズ

行間サイズ

ポップアップ
メニュー

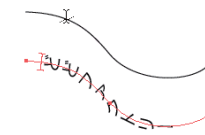


直接ボックスに数値を入力して文字サイズを指定します。ポップアップメニューからも大きさを選べます。文字の大きさに合わせて、行間も自動で設定されます。この行間は、文字列が2行以上のときに行と行との間の長さを決めるものです。行間は、文字サイズの1.5（～2）倍が一般的です。

●パス上文字ツール

パスに沿って文字を並べたい場合は、「パス上文字ツール」や「パス上文字（縦）ツール」で沿わせたいパスをクリックすると文字が入力できるようになります。クリックされたパスは線も塗りも「なし」になります。

パス上文字ツール
「パス上文字ツール」でパスをクリックすると、パスに沿って文字を入力することができます。



パス上文字（縦）ツールだと文字がパスに対して縦になります。



●文字のアウトライン

[アウトラインを作成] を行うと、文字がアウトライン（ベジェ曲線）に変換されます。

一度文字をアウトラインにしてしまうと、もう元には戻りません。その代わりに個々の文字が、普通のパス同様に自由な形に加工できるようになります。

印刷を発注する場合は、印刷所にあるフォントを確認し、印刷所がないフォントがあればフォントを変更するか、文字をアウトライン化することになります。

文字をアウトライン化
文字ツールで入力した文字は、アウトライン化で普通のパスに変換できます。

入力した文字(フォント)を… アウトライン化 パスなので加工できます



エリア内文字ツール

イラストレーターで文字を一定の範囲内に収めたいときがあります。普通の文字ツールで文字を入力したものに改行を入れて調整できそうですが、後から文章を変更したときに修正が大変です。こんなときは、「エリア内文字ツール」を使います。

これは内部に文字を入力するためのパス（文字の範囲を決めるのでテキストエリアと呼ばれます）を作成するツールです。長い文章でもテキストエリアから文字がはみ出ないように自動的に改行されるので便利です。

エリア内文字ツールの使い方

長方形などのパスを「エリア内文字ツール」や「エリア内文字（縦）ツール」でクリックすると、内側に文字が入力できるようになります。

エリア内文字ツール

一定の範囲内に文字を収めたいときに使います。

ベジェ曲線講座で
ベジェの仕組みを
学ぶことができま
す。

通常のテキストの場合、
改行を入れて文末を
揃えても…

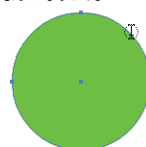
ベジェ曲線講座で
ベジェ曲線の仕組みを
学ぶことができま
す。

文字を追加すると
はみ出てしまいます。

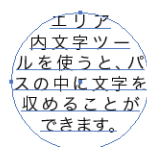
ベジェ曲線講座で
ベジェ曲線の仕組みを
学ぶことができます。

エリア内文字ツールを
使えば範囲内で自動的
に改行されます。

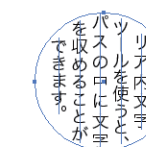
既存のパスを利用したテキストエリア
エリア内文字ツールでパスの上のどこか一点をクリックすると、文字が入力できるようになります。



パス上の一点を
クリック



文字が入力できます



エリア内文字（縦）ツール
を使用、あるいは縦組みに
変更したものの

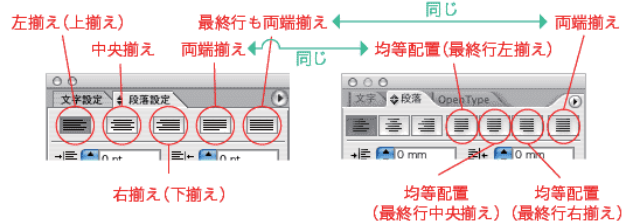
テキストエリアでの文字揃え

通常の文字ツールでの文字揃えは、左揃え、中央揃え、右揃え（縦書きの場合は上揃え、中央揃え、下揃え）の3種類ですが、テキストエリア内では両端で揃えることができます。もっと言えば、両端で揃えたいからこそテキストエリアを使用することになります。

テキストエリアでの文字揃え

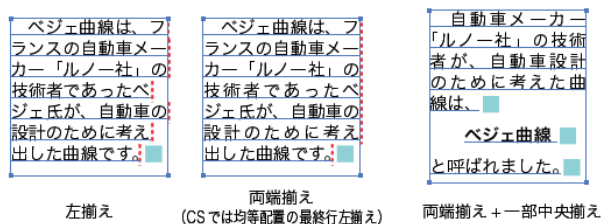
[Illustrator 10以前]

[Illustrator CS以降]



テキストエリアで長文のサイドを揃える場合

「左揃え」では右側の空きがバラバラですが、「両端揃え」なら右側も揃います。（下の■は、文中に改行が入っている箇所です）



●マスク

以下三つのマスク機能が有ります。

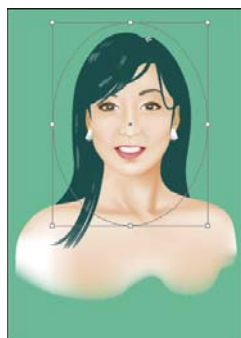
1. クリッピングマスク
2. レイヤーパネルでのクリッピングマスク
3. 不透明マスク

ここでは、1. クリッピングマスクと、「画像の切り抜き」という共通の機能を持つ「複合パス」について見て行きましょう。

●クリッピングマスク (マスクの基本)

パスの不必要な部分を隠すために、クリッピングマスクを使います。いちばん上に作った形状の内側の範囲だけを見せて、その外側をマスクで隠します。

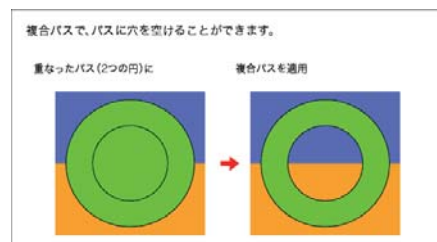
円の内側にある顔だけを見せて、外側にある体を隠しています。アウトラインモードで表示すると、パスのデータは消えずに残っているのが分かります。



●複合パス

2つの形を重ねて「複合パス」にすると重なっている部分に穴を空けることができます。

メニューの [複合パス / 作成] で複合パスにできます。複合パスを解除するには [複合パス / 解除] を行ってください。



クリッピングマスク

クリッピングマスクを適用すると、いちばん上のパスの外側を隠すことができます。



文字の装飾

TOMATO
TOMATO

- 準備 文字：TOMATO 72pt impact
コピペして3個描いておく
四角形：幅 100 × 高さ 50^{mm}
黒塗り 黒 50%

ドロップシャドウ

フィルタ / スタイライズ / ドロップシャドウ



ドロップシャドウを変えてみる

フィルタ / ドロップシャドウ → ぼかし → 10^{mm}

分解してみる

→ カラー変更

右クリック / グループ解除 / 最後は白 + 矢印



線□白 10pt

角の形状を丸く



アピアランスを使う

- ①文字選択
- ②アピアランスパレットメニュー
 - ・線追加 新規線を追加
線□白 10pt
新規線を、文字の下へ移動する
白抜き文字ができる
- ③線パレットで、角の形状を丸める
文字をコピペして 線□白 → 赤にする
- ④二重線にする
 - ・さらに新規線を追加する
線□緑 20pt
- ⑤グラデーション
 - ・アピアランスパレットの文字部分を選択し、
グラデパレットから、グラデを選択する

TOMATO

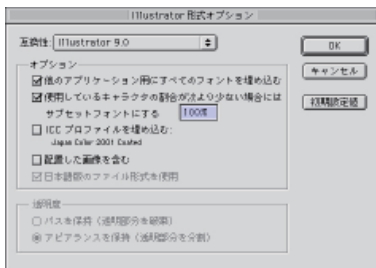
線□緑 20pt

TOMATO

| 主な保存形式 | |
|--------|--|
| AI | Illustrator 形式。Illustrator 本来の形式。通常、Illustrator で読み書きできる。 |
| EPS | EPS 形式。カプセル化された PostScript 形式。一般的には DTP ソフトに貼り込む目的で使う。 (ほかのソフトで面付をする時、ai 形式ではダメなんですよ) |
| SVG | Scalable Vector Graphics。ウェブ用のベクトル画像。Internet Explorer が標準で対応していないため、いまいち普及していない。 |

| Illustrator の保存に関する項目 | |
|-----------------------|---|
| 保存 | 作業していた書類を保存します。初めて書類を保存するときには書類の「ファイル名」「保存場所」「保存形式」を決めてください |
| 別名で保存 | 作業していた書類を別名で保存します。書類の「ファイル名」「保存場所」「保存形式」を変えたいときに使います。 |
| 複製を保存 | 作業していた書類の複製を保存します。書類の「ファイル名」「保存場所」「保存形式」を決めてください。 |
| (データ) 書き出し | 他のアプリケーションで開くために任意の形式で保存できます。IllustratorCS で、Illustrator10 以前のバージョンで開くファイルを作成する場合も (データ) 書き出しを使います。 |

| 推奨 保存形式 (Illustrator9) | |
|------------------------|---|
| バージョン | 必ず作成したバージョンを選んでください。 下位のバージョンで保存されると、そのバージョンにない機能が失われ、データに不具合が生じることがあります。 |
| フォント | 100% (入稿ではフォントのアウトラインをすべて作成してください。) |
| オプション | PDF 互換ファイルを作成：任意 チェックを入れるとファイル容量が大きくなりますが、PDF に対応したソフトで、データを確認することができます。InDesign に配置される時は必須です。 配置した画像を含む：オフ リンクで配置した画像があるときに選択できます。チェックを入れるとファイル容量が大きくなります。InDesign に Illustrator データをリンクするときはチェックを入れてください。 ICC プロファイルを埋め込む：オフ 圧縮を使用：任意 チェックを入れると保存時間が遅くなりますが、データを劣化させずに容量を小さくできます。 |

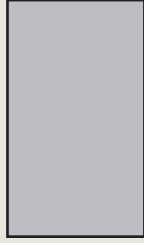


Illustrator CS5



- ① 中央部に、
長方形ツールで正確にえがく

91mm



55mm

準備

- ②③選択し、
オブジェクト／トリムエリア／作成

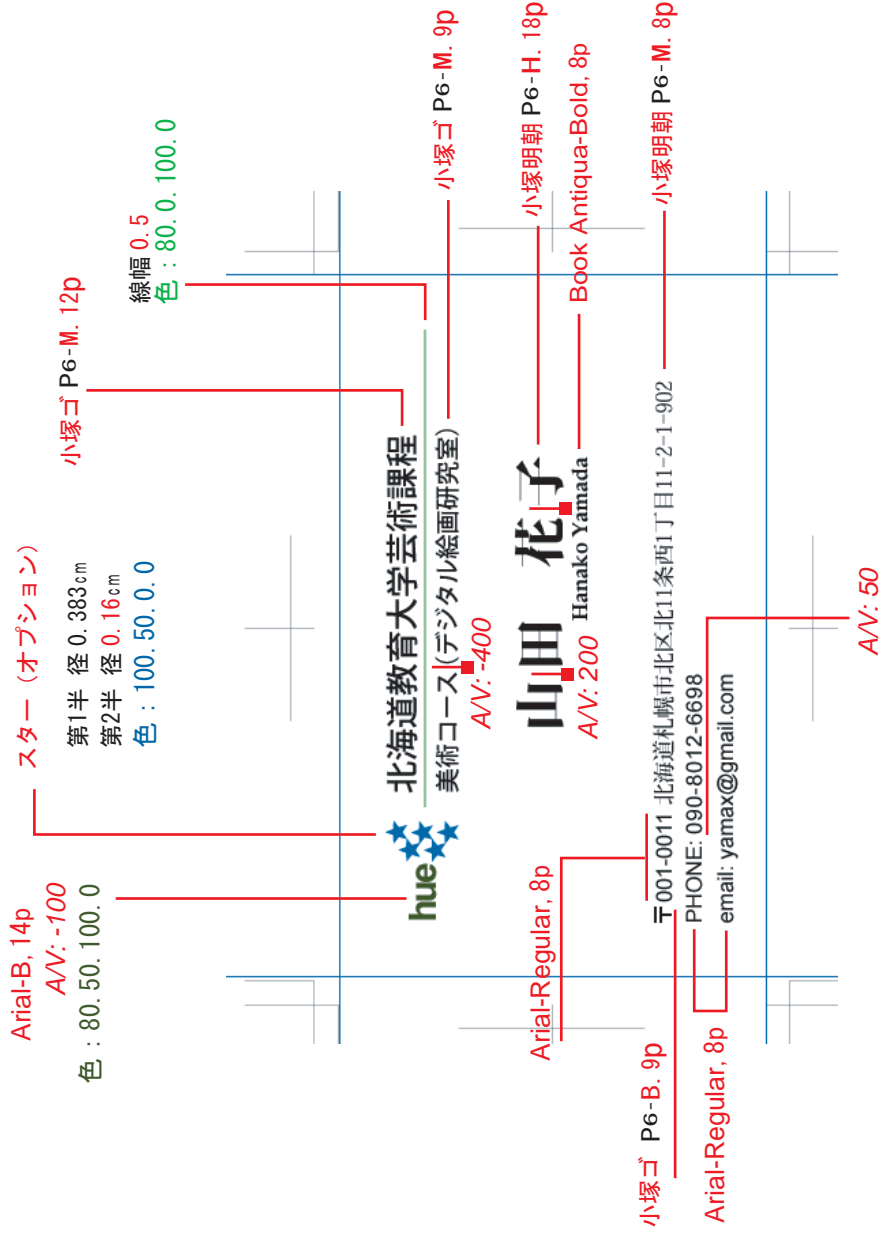
■新規レイヤー作成し

表示 / 定規を表示
ガイドを引っ張り出し
名刺サイズを四角に囲む

- ④ 名刺を
レイアウトする



- ⑤ 10コマ名刺シート
を作成しコピペする



レイヤー<絵>

ベラスケスの絵を「配置」する(ファイル/配置)

ベラスケスの絵をクリッピングマスクする
四角 (170*220ミリ)

レイヤー<文字>

華麗なる...

太文字の作成

MSP明朝 → アウトライン作成

→ タテ300%ヨコ100%拡大

→ パスのオフセット

→ タテ33.3%ヨコ100%縮小

影をつける

フィルタ/スタイルズ/ドロップシャドウ

モード:通常、100%、0.50.5、ほかし0、50%

レイヤー<英字>

フォント:Mistral

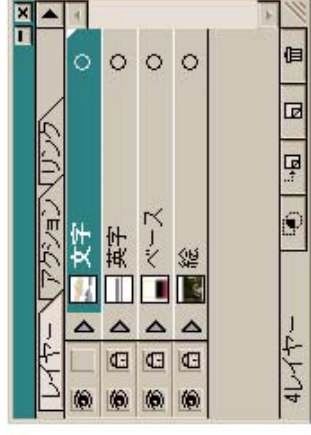
HG正楷書体PRO --- 36P

HG丸ゴシMPRO --- 18P

HG創英角ゴシUB --- 8P

HG丸ゴシMPRO --- 8P
6P

7P



レイヤー<ベース>

黒とエンジェルの2つの四角形

MSゴシック --- 23P(ヨコ90%)

MSPゴシック --- 9P(ヨコ90%)

MSP明朝 --- 9P(ヨコ90%)

